

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	就労系施設生産活動推進事業 ※ 旧授産事業振興費		<b>担当部局庁</b>	社会・援護局 障害保健福祉部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和59年度～		<b>担当課室</b>	障害福祉課		土生 栄二		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-9-1 福祉サービスを支える人材養成、利用者保護等の基盤整備を図る				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	予算事業		<b>関係する計画、通知等</b>	重点施策実施5か年計画 (平成19年12月25日 障害者施策推進本部決定) 等				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	就労系事業所の官公需・民需に係る製品等の受注の確保を図り、就労系事業所利用者の就労機会の促進を期するとともに、国・地方公共団体からの官公需の発注を促進させるための事業を実施							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発注者側(国・民間企業等)に対し、全国の就労系事業所の物品販売・役務提供の内容、連絡先、受注可能数等、発注を行うために必要な情報発信をする事業</li> <li>● 就労系施設の製品開発、販売促進、品質管理等についての指導・研修を実施する事業</li> <li>● 就労系施設製品の販路の拡大並びに受注の安定を図るため、展示販売を行う事業</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	27	27	21	17	17	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	27	27	21	17	17		
	執行額	27	27	21				
執行率(%)	100.0	100.0	100.0					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	事業内容が情報発信、商品開発援助、展示販売等であるため、定量的な成果目標を設定するのにそぐわない。		成果実績	-	-	-	-	-
		達成度		%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事業内容が情報発信、商品開発援助、展示販売等であるため、定量的な活動指標を設定するのにそぐわない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					-	-	( - )	( - )
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	補助金	17	17					
	計	17	17					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	(随意契約の理由) 日本セルフセンターはあらゆる就労支援関係障害福祉サービス事業所団体を協力団体として事業を実施しており、本事業を効果的に行うことができる団体であるため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き事業を継続していく		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>・本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>・引き続き効率的な執行に努める</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

【厚生労働省】 21百万円

- 社会福祉法人 全国社会福祉協議会に対する補助



A【社会福祉法人全国社会福祉協議会】  
21百万円

- 官公需・民需にかかる授産事業の受注の確保、及び授産事業の振興



随意契約

B【特定非営利活動法人日本セルフセンター】  
17百万円

- 事業所への調査・補助・指導等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. 社会福祉法人 全国社会福祉協議会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託料	特定非営利活動法人 日本セルフセンターへの委託	17			
庁費	通信運搬費 ほか	2			
その他	諸謝金 ほか	2			
計		21	計		0
B. 特定非営利活動法人 日本セルフセンター			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員俸給 ほか	5.5			
賃金及び雑役務費	支払手数料、取材原稿作成費 ほか	4.5			
会議費	セミナー開催費	1.8			
旅費	職員旅費	1.8			
借料及び損料	出展料、レンタル料	1.4			
その他	通信運搬費、印刷製本費、消耗品費	1.9			
計		17	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国社会福祉協議会	情報発信、商品開発援助、展示販売等	21	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人 日本セルフセンター	情報発信、商品開発援助、展示販売等	17	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					